※令和４年度以降入学生用

| 学校番号 | １０１０ |
|---|---|

# 令和５年度　国語科

| 教科 | 国語 | 科目 | 古典探究（前） | 単位数 | ２単位 | 年次 | ２年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 「精選古典探究」　（大修館出版） | | | | | | |
| 副教材等 | 「三訂版　やさしくくわしい古典文法」　（尚文出版） | | | | | | |

## １　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「言語文化」で学んだ知識をより一層深め、先人のものの見方や感じ方を味わいましょう。
・古典作品に親しみ、正しく心情等を理解するために語彙力や文法の知識をしっかりと身に付けてください。
・予習として必ず本文を読んでおきましょう。授業の後には内容を振り返って復習してください。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査には学習計画を立てて臨んでください。

## ２　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

（１）生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
（２）論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力などを伸ばし、古典など通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
（３）言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

## ３　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a　知識・技能 | b　思考・判断・表現 | c　主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 古典を読むのに必要な語句の意味や用法、文章の構成、修辞などを理解し、知識を身に付けている。 | 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。 | 言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、古典に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めようとしている。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

| 学期 | 単元の学習内容 | 単元の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1 | 物語の展開を味わい、説話を正確に読み取る。<br>［教材］<br>『宇治拾遺物語』<br>「検非違使忠明のこと」 | a：古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。<br>b[読]：文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。<br>c：古文の説話と現代のさまざまな文化との繋がりを理解しようとしている。 | 定期考査 | 定期考査 | ワークシート<br>振り返りシート |
| | 作品に表れた無常観を理解する。<br>［教材］<br>『徒然草』<br>「家居のつきづきしく」 | a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。<br>b[読]：古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。<br>c：作品に表れた無常観を読み取り、我が国の中世的な考え方に対する理解を深めようとしている。 | 定期考査 | 定期考査 | ワークシート<br>振り返りシート |
| | 歌物語という文章の種類や古典特有の表現に注意し、展開や内容を的確に捉える。<br>［教材］<br>『伊勢物語』<br>「初冠」 | a：古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。<br>b[読]：作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。<br>c：物語の内容や歌に込められた登場人物の思いをとらえようとしている。 | 定期考査 | 定期考査 | ワークシート<br>振り返りシート |
| 2 | 敬語表現を理解し、内容や人物の関係性を捉える。<br>［教材］<br>『枕草子』<br>「中納言参り給ひて」 | a：古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。<br>b[読]：必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。<br>c：作品を読み、登場人物同士の関係性を読み解こうとしている。 | 定期考査 | 定期考査 | ワークシート<br>振り返りシート |
| | 他の作品との関係も踏まえて日記を読み、作者の心情を的確に捉える。<br>［教材］<br>『更級日記』<br>「門出」 | a：古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。<br>b[読]：古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結びつけ、考えを広げたり深めたりしている。<br>c：古人の旅についての文章を読み、作者の置かれた境遇や物語に向けられた心情を読み取ろうとしている。 | 定期考査 | 定期考査 | ワークシート<br>振り返りシート |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 長編物語としての話の展開の仕方や心理描写を捉える。<br>［教材］<br>『源氏物語』<br>「光源氏の誕生」 | a：古典の作品や文章に表れている，言葉の響きやリズム，修辞などの表現の特色について理解を深めている。<br>b[読]：古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。<br>c：作品に興味をもち、物語の内容や作品の背景、登場人物の思いを捉えようとしている。 | 定期考査 | 定期考査 | ワークシート<br>振り返りシート |
| 3 | 登場人物の行動や心情、出来事を捉える。<br>［教材］<br>『史記』<br>「鴻門之会」 | a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。<br>b[読]：作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。<br>c：時代背景や登場人物に興味をもち、各陣営の戦略や、人物の心情・行動を読み取ろうとしている。 | 定期考査 | 定期考査 | ワークシート<br>振り返りシート |
| | 古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解する。<br>［教材］<br>『史記』<br>「四面楚歌」 | a：・時間の経過による言葉の変化や，古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。<br>b[読]：作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。<br>c：時代背景や登場人物に興味をもち、各陣営の戦略や、人物の心情・行動を読み取ろうとしている。 | 定期考査 | 定期考査 | ワークシート<br>振り返りシート |
| | 作品の特色に注意しながら、歴史物語の内容を的確に読み取る。<br>［教材］<br>『大鏡』<br>「競べ弓」 | a:文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。<br>b[読]:必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。<br>c:登場人物の心情や人物像についての理解を深めようとしている。 | 定期考査 | 定期考査 | ワークシート<br>振り返りシート |
| | 表現の特色について理解し、作品を味わう。<br>［教材］<br>『平家物語』<br>「能登殿最期」 | a:古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。<br>b[読]:古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。<br>c:軍記物語を思想的背景・歴史的背景に注意しながら読み、自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。 | 定期考査 | 定期考査 | ワークシート<br>振り返りシート |

４　学習の活動

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　　）時間

・読むこと　…　（　　）時間